

# ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号

TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170

URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



## 基本理念

信頼され、心が通う地域医療

## 基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 患者さん自身で治療を選べるよう、わかりやすく十分に説明します。
3. 地域の急性期医療を担います。
4. 地域の医療・介護機関と緊密に連携します。
5. 診療の質を高めるため、研鑽・研修に努めます。
6. 医療の安全確保に努めます。
7. 効率的で健全な病院経営を目指します。
8. 職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

# 新年のご挨拶

院長 桑島 信



あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって良い年になることをお祈りします。

昨年4月から院長桑島、副院長高橋、事務長須田が新任となり、別に掲示しているとおり、病院の基本理念を「信頼され、心が通う地域医療」とし、基本方針も改めました。この理念・方針に沿って、地域住民の皆様のご期待に応えられる病院であるよう努めて参ります。

さて、当院を含め、医療・介護を巡る環境は大きく変化しています。出生数が減り、平均余命は伸びる中で若年層を中心とした人口減少、高齢化が進んでいます。どのように高齢化社会を支えるのか、医療・介護・福祉の場面で「地域包括ケアシステム」を実現するという言葉が広まっていますが、その実態は画一的なシステムではなく、地域の現状に合わせたネットワークと考えるべきであるとの意見が適切かと思われま

す。医療の分野に限れば、それぞれの医療機関が役割を明確にし、効率と診療の質の向上を図り、連携して地域の社会を支えることとなります。当院が地域において果たすべき役割は、従来から担当してきた急性期医療、特に不採算部門と言われる救急、がん医療、周産期・小児医療、災害医療、感染症医療を今後も維持することです。

一方で、医療のあり方が「cure：治す医療」から「care：治し・支える医療」へと変化しています。また、地域では生活支援やリハビリテーションなどを担当する回復期病床の不足が指摘されています。当院でも急性期後に在宅復帰を目指す患者さんに配慮し、一昨年より地域包括ケア病棟を設置し運用中ですが、今後とも地域の状況を確認し、さらなる回復期医療への関与を検討しています。

これらの医療を持続的に維持するには、医師の確保が必要ですが、今年から始まる新専門医制度、検討されている医師の働き方改革など、地方の病院にとって不安材料が多いのが現実です。「絶望しすぎず、希望を持ちすぎず」の気持ちで取り組みます。

医療機器に関しては、昨年度に導入して準備していた最新放射線治療機器を5月より運用開始し、10月には心血管撮影装置を更新しました。今後とも、できる限り最新の技術・機器を導入し、よりよい医療を皆様に提供できるよう計画して参ります。

今後とも皆様の変わらぬご支援を、何とぞよろしくおねがいたします。

# 心臓血管撮影 装置の更新

循環器内科診療部長 むら おか まさ と  
**村岡 理人**



## はじめに

現在、日本人の死因の第2位（1位は悪性新生物）は心疾患となっています。

なかでも心筋梗塞・狭心症といった冠動脈疾患（虚血性心疾患）は急に発症し短時間で生命を奪う可能性のある怖い病気です。

冠動脈疾患の最終的な診断や治療には心臓カテーテル検査及び治療が必須です。

当院では2017年10月に心血管撮影装置を新しくし、より安全・確実・迅速に心血管系の診断・治療が行えるようになりました。

## 虚血性心疾患とは

心臓の筋肉を栄養する冠動脈に<sup>じゅくしゅ</sup>粥腫という油の塊が形成され、血管の血の流れが滞ることで胸の痛みや圧迫感を自覚することが多いですが、ご高齢の方や糖尿病のある方は症状がないか、あっても軽いこともあります。脂の塊が割れて血栓が形成され血流が途絶すると心筋梗塞に至り生命の危険が生じる可能性があります。なりやすい方としては喫煙・糖尿病・脂質異常・高血圧症・高尿酸血症をお持ちの方ですが、これらの病気がなくても虚血性心疾患になる場合もあります。

## 虚血性心疾患の診断と治療

症状や血液検査での異常、心電図検査・心エコー・負荷心電図等を総合的に判断し診断します。

確定診断には心臓カテーテル検査が必要になります。

心臓カテーテル検査とは、手首や肘・股のつけねのところから細いカテーテルという管を心臓の血管（冠動脈）に挿入し、血管内に造影剤を注入し撮影することで冠動脈の状態を調べる検査です。

治療としては①薬物療法 ②カテーテルによる治療（経皮的冠動脈形成術：PCI）③手術療法（冠動脈バイパス術）が行われます。

どの治療法が最適か適応は心臓カテーテル検査の結果や全身状態で総合的に判断されます。

カテーテルによる治療(PCI)は、粥腫により狭くなった血管に細いワイヤーを通し、このワイヤー上に挿入した風船(バルーン)を拡張させることにより粥腫を押し拵げ血管の血の流れを改善する方法です。

バルーン治療のみの場合は粥腫がまた大きくなることなどにより血管が再度狭くなることが半分以上で起こるとされているため、同部位にステントという金属のコイルを追加で置くことが多く行われます。

最近のご高齢の患者さんも多く、腎臓の機能が低下している方や体力の弱った方も居られるため、診断・治療とも造影剤の量を低く抑え、短時間でなるべくより細い管（カテーテル）で検査行うことが大事になってきています。

## 当院の心血管撮影装置と心臓カテーテル検査・治療

2017年10月にSIEMENS社製Artis one心血管撮影装置を導入しました。

画像を撮影する管球という装置が検査ベッドに寝ている患者さんの周囲を巡回しながら撮影することにより、

より短時間で少ない造影剤量での検査が可能となりました。

その他にも種々の最新機能が搭載されており、患者さんの状態に合わせて使用しています。また、当院では95%以上の患者さんで手首からのカテーテル挿入で検査・治療を行っており、安静にしている時間も短時間(検査の場合終了1時間後から歩行可能)となっています。



心血管撮影装置

## おわりに

虚血性心疾患は徐々に進行しますが、発症すると急速に状態が悪くなり、最悪の場合命の危険もあります。

前述しましたように最近では短時間で造影剤の量も抑えた検査が可能で

すし、カテーテル以外にも冠動脈CT等の診断方法もありますので、胸の痛みや圧迫感・不安感をお持ちの方はぜひかかりつけの先生と相談頂くか、桐生厚生総合病院循環器外来を受診ください。

## 平成30年～患者さんに親しまれ 見える臨床薬剤師を目指します！

薬剤師は薬の専門家です。

平成24年度から医師・歯科医師と同様に大学で6年間勉強した薬剤師が誕生し、当院では8名の6年生卒業の薬剤師がおります。また、医師が内科や小児科などの専門分野に進むように薬剤師も自分の専門分野を見出し「認定薬剤師」として活躍を始めています。当院では日本病院薬剤師会が認定している、がん薬物療法認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師が活躍しております。現在、桐生・みどり市地域で認定を取得している薬剤師がいるのは当院だけです。



薬剤部長

こばやし まゆみ  
小林 真弓

## 認定薬剤師を紹介します

### ①がん薬物療法認定薬剤師

がん治療に不可欠な薬物療法の専門家として、医師や看護師ら医療スタッフとともにがん患者さんをサポートします。がん薬物療法の専門知識と技術を持つと認められた存在です。主な仕事は「薬物療法を提案する・副作用を解決する・患者さんを支援する」などで、外来の注射室で治療を受ける時にベットサイドにお伺いさせていただいております。

また、個別で治療のお薬の相談を受けています。

### ②感染制御認定薬剤師

感染制御について専門知識を持つと認められた薬剤師です。薬剤に対する専門的な知識を活かし、チーム医療の一員として抗菌薬や消毒薬の適正使用を推進しています。当院では医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師などから構成される感染対策チームを中心として院内の感染対策に取り組んでいます。

### ③妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師

「妊婦・胎児に対する薬の影響」に関する専門家です。持病でお薬を飲んでいる場合、妊娠している事を知らずにお薬を飲んでしまった場合など妊娠中や妊娠希望の方のお薬の赤ちゃんへの影響についての相談も受けています。母乳には多くの良い事が知られており、お薬を飲んでいるママが必ずしも母乳をあげることをあきらめなければいけないわけではなく、相談する事が大切です。授乳とお薬についてもご相談して下さい。

この様に病院、病気にはお薬は切っても切れないものです。お薬の専門家にぜひご相談下さい。

第20回

# 市民公開講演

## 講演 「終末期医療をめぐる法と倫理」

—患者さん、ご家族、医療者の方に知っておいてほしいこと—

講師

いっ か つな くに  
一家 綱 邦 先生 (国立がん研究センター 研究支援センター  
生命倫理部 生命倫理・医事法室長)

司会

たか はし みつ ひろ  
高橋 満 弘 (桐生厚生総合病院 副院長兼医療局長兼放射線科診療部長)

日時

平成30年2月24日(土) 14:00~16:00 (開場 13:30)

参加費無料・申込不要です。当日直接会場までお越しください。

会場 桐生地域地場産業振興センター 中3階 第2ホール  
(〒376-0024 群馬県桐生市織姫町2番3号)

駐車場 桐生厚生総合病院駐車場または、桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください。

問い合わせ先 地域医療連携室 TEL 0277-44-7150

主催 桐生厚生総合病院 (地域がん診療連携拠点病院)

第19回

## ハッピー健康相談室

皆さまが、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。皆さまお誘い合わせのうえお越しください。

日時 平成30年3月8日(木) 14:00~16:00

内容 ①よりよく眠れるためのヒント パート1

講師: 睡眠健康指導士 濱田 隆晴

②睡眠薬と上手な付き合い方

講師: 薬剤師 大手 直樹

③よりよく眠れるためのヒント パート2

講師: 看護師 高橋 紀子  
(セラピューティックケア認定士)

\*②は個別相談あり。③は眠れるためのセルフケアを一緒に行います。

- 場所: 桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー
- 参加費: 無料 (事前申し込み不要)
- 駐車場: 無料 (桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください)
- 問い合わせ先: 地域医療連携室 TEL0277-44-7150

## かわいい花たちが 皆さんをお出迎えします

この度、病院の駐車場入口から正面入口まで続く花壇の植え替えをしました。パンジーとピオラ (花言葉: 信頼) がお出迎えします。当院へお越しの際はぜひご覧いただき、成長を見守ってください。

これからも、皆さんに心安らぐひとときを過ごしていただけるよう、「優しい環境づくり」を心がけ、お届けできるようにしていきたいと思っております。



地域医療連携室 患者サービス係